

「税は社会の会費です。」

正直、どういうことだか全くわかりませんでした。社会って会費を払わないと居られない場所なのかと衝撃を受けました。学校でもらったファイルに書いてあったこの言葉は、私の税への意識を大きく変えました。

税が会費とは何なのか、調べてみました。財務省のウェブページによると、私たちが税を払う理由は、年金、医療、水道、道路、教育、警察、消防など「公的サービス」を受けるためなのだそうです。私たち子供が当たり前前にサービスを受けられるのは、国が広く薄く大人から税を集めているからという事を改めて認識しました。これは、きちんと税を納めていないときちんとサービスを受けられないということでもあります。では、生活が苦しい人からも豊かな人と同じ量を取るのが税なのでしょうか。

どうやら、税には貧富に関係なく納めるものと、そうでないものがあるそうです。例えば消費税。これはものを買ったすべての人に当てはまり、買った分税も多くなります。それに対し、所得税は、給料から一定の割合が引かれるので、人によって税に差が出ます。このように、平等に集めるものと公平に集めるものを使い分けることが、私たちの幸せな生活につながる鍵だと思いました。集めなければいけない税を、どの人からどの程度集めるのか。国はこの問題に常に意識を向けるべきであり、税によって苦しくなる人がいないよう注意を払うようにしてほしいです。

税には、私たちの生活を左右する力があることがわかりました。ですが、ただ何も考えず税を納めるだけでは、よりよい公的サービスが受けられないと思います。よりよい生活を送るには、選挙で、税を正しく使い納めた分だけ還元される社会を作ってくれる政治家を選ぶことも大切だと思いました。18歳で成人となった今、私たちのような若い世代も、政治に参加するための準備が必須です。税の使い方も、一つの選ぶポイントになるのではないかと思います。

「税は社会の会費です。」

この言葉を読んでから、私の税に対する意識は、ただ多く払うだけの訳のわからないものから、選挙で注目するポイントにまでになりました。税というものは、遠いようで生活に直結するものだったのです。

これから先、成人して、自分でお金を稼ぐようになったら、しっかり税を納め、自分が受けられる公的サービスを適切に利用しようと思います。そうして、私たちの生活をより豊かにしてくれる、正しい税の使い方をしていく社会を作ることで、幸せな未来はきっとやってくるでしょう。